

理事長杯競技要項

1. 競技方法

18ホールズストロークプレー

アンダーハンディ戦

バックティー使用

2. 競技の条件

① ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、プレーヤーは最後にプレーしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。

② スタート後の打球練習場及びアプローチ練習場の使用禁止

3. ローカル・ルール

① 修理地は、青杭又は白線をもってその境界を標示する。

② レッドペナルティーエリアは赤杭又は赤線をもってその境界を標示する。

③ インコース13・14番ホールの縞杭は、適用外とする。

④ 排水溝は動かさない障害物とする。

⑤ 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

⑥ 元電磁誘導カート用の3本のコンクリート軌道は全幅をもって動かさない障害物とみなす。

⑦ スプリンクラーが、パッティンググリーンから2クラブレンジス以内にあり、球からも2クラブレンジスの範囲内で、しかも球とホールとの間のプレーの線上にかかっているときは、プレーヤーは動かさない障害物として救済を受けることができる。

⑧ 規則 6-6 d 例外は以下の通り修正される。

どのホールであっても、競技者がスコアカードを提出する前には罰を受けていたことを知らずに1打または複数の罰打を含めなかったために、真実より少ないスコアを提出していた場合、その競技者は競技失格とはならない。このような状況では、その競技者は該当する規則に規定されている罰を受けるが、規則 6-6 d に違反したことに対する追加の罰はない。

該当する罰が競技失格である場合にはこの例外は適用しない。

⑨ 本ローカル・ルールに記載されていない事項はすべてJGA競技規則による。

4. 順位の決定

同ネットの場合ハンディ上位、同ハンディの場合カウントバックとする。